

熊本県の観光・レジャーに関するアンケート(2021年2月調査)

「熊本県の観光・レジャーに関するアンケート(2021年2月調査)」を実施した結果を公表いたします。(発送数:276、回収数:88、回収率:31.9%、回収期間:2月18日~2月28日)本アンケートは、県内の観光・レジャーの動向をいち早く捉えるために実施しております。

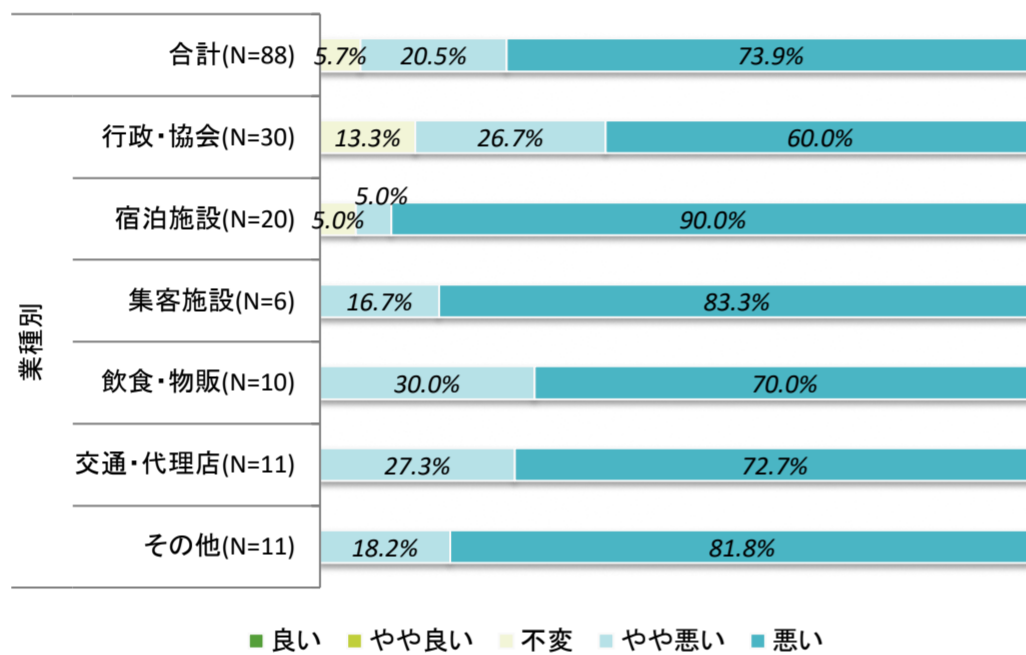
1. 熊本県観光DI まとめ

	現状判断DI (12月~2月)	見通しDI (3月~5月)
合計(N=88)	8.0	57.7
行政・協会(N=30)	13.3	60.8
宿泊施設(N=20)	3.8	47.5
集客施設(N=6)	4.2	66.7
飲食・物販(N=10)	7.5	33.3
交通・代理店(N=11)	6.8	65.9
その他(N=11)	4.5	61.4

12~2月の熊本県の現状判断DIは、8.0となった。また、見通しDIは57.7となった。DIが50を超えた場合、景気が上向いていることを示す。
Go Toトラベルキャンペーンが停止となり、首都圏や福岡県などで発出された国の緊急事態宣言や県独自の緊急事態宣言の影響を受けている。

※DIとは
同調査におけるDI(ディフュージョン・インデック)は、現在(現状判断)、現在と比べた3ヶ月後の見通し(先行き判断)に対する5段階の判断に、それぞれ点数を与え、これらの回答区分の構成比(%)を乗じたものである。(良い...+1、やや良い...+0.75、変わらない...+0.5、やや悪い...+0.25、悪い...0)。

2. 12~2月期の動向、景況感

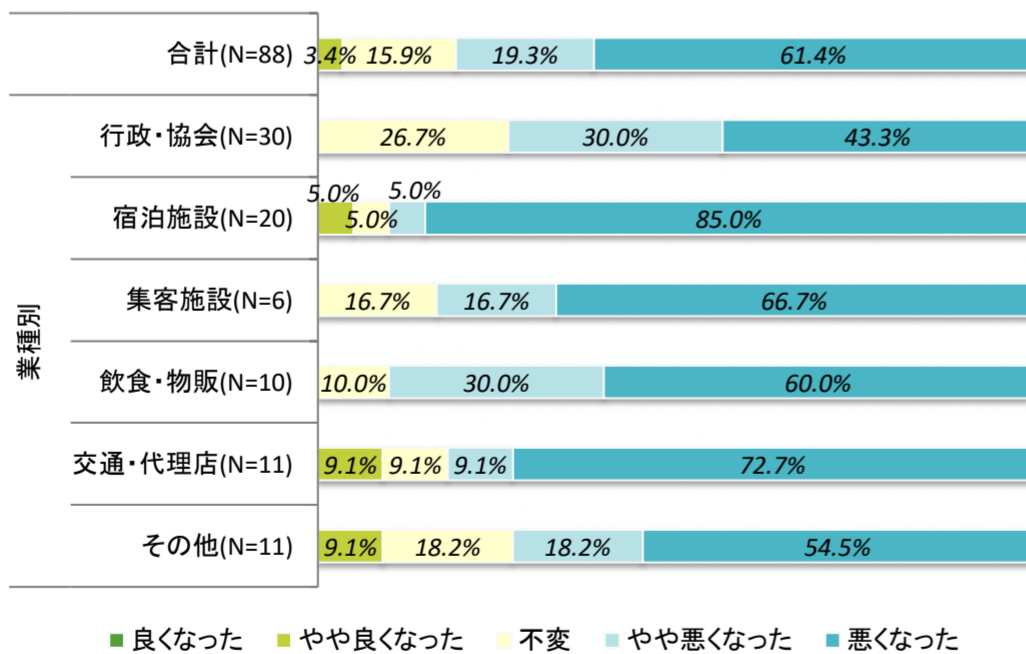


12~2月の景況感は、「良い」と「やや良い」の合計は0.0%、「悪い」と「やや悪い」の合計は94.3%となっている。

【コメントの抜粋】

- 不変
県独自の緊急事態宣言解除後は客足が伸びている。3ヶ月の平均として不変とした。(宿泊施設、県南地域)
- やや悪い
年末年始の広告展開の減少、定例イベントの中止等のため。(交通・代理店)
冬期のイベント中止や熊本県独自の緊急事態宣言により、悪くなったと感じた。(行政・協会、阿蘇地域)
- 悪い
12月~2月に限っては、修学旅行の実施のみあるものの、他が全くゼロの状態。(交通・代理店)

3. 9~11月期に比べて12~2月の動向、景況感

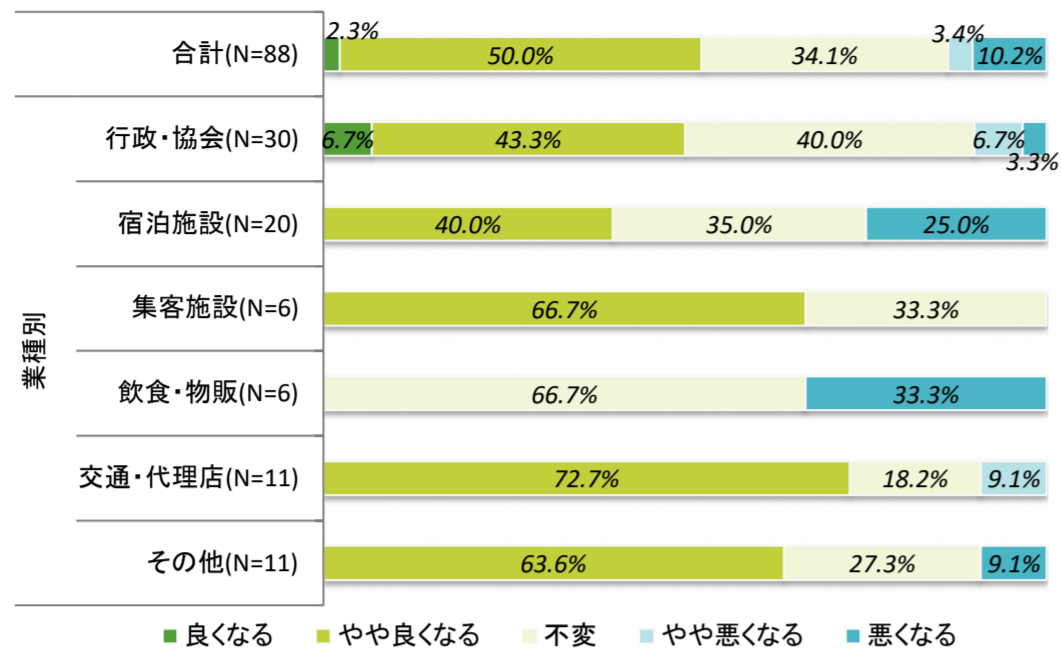


9~11月期に比べて12~2月の動向、景況感は、「良い」と「やや良い」の合計は3.4%、「悪い」と「やや悪い」の合計は80.7%となっている。緊急事態宣言やGo Toトラベル停止の影響が大きい。

【コメントの抜粋】

- やや良い
休業から、営業できるようになったため。(宿泊施設、県南地域)
- 不変
動向、景況感が変わるようなイベントはなかった(行政・協会、県北地域)
- やや悪い
緊急宣言の発令により貸展示のキャンセルや来館者の減少がみられたため。(集客施設)
- 悪い
コロナの影響でお客様の行動自粛。Go Toトラベルや県・市の旅行者への補助がなくなった。(宿泊施設、県央地域)
緊急事態宣言により外出の自粛とGo To事業の中止。(阿蘇地域、飲食・物販)

4. 今後、5月までの業況の見通し



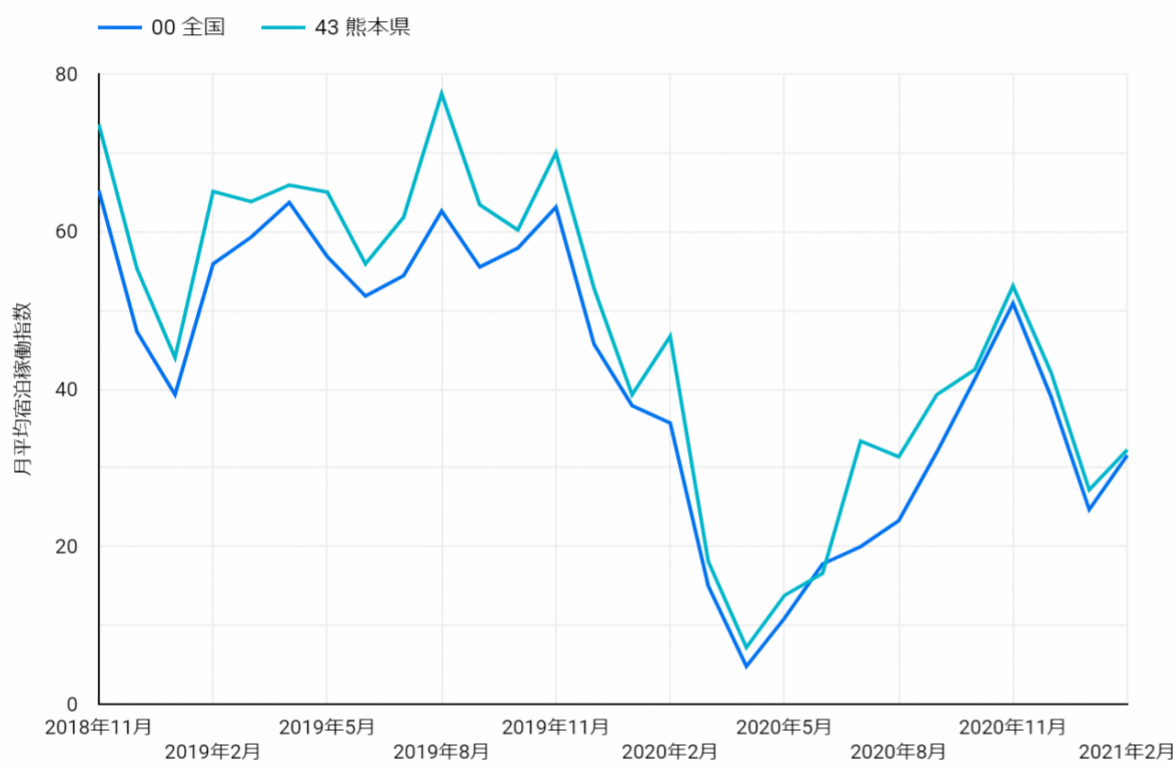
今後5月までの業況の見通しは、「良い」と「やや良い」の合計は52.3%、「悪い」と「やや悪い」の合計は13.6%となっている。新型コロナウイルスの収束とワクチン接種への期待が高まる声と、感染状況が読めないといった声に分かれる。

【コメントの抜粋】

- 良い
緊急事態宣言も明け、3月には集客施設がリニューアルオープンする。なお、教育旅行の受け入れも数校決定している。(行政・協会)
- やや良い
熊本駅ビル開業効果のため。(交通・代理店)
Go To トラベルの再開とワクチン接種(宿泊施設、阿蘇地域)
- 不変
コロナの動向が読めないため(行政・協会、県南地域)
- 悪い
観光バスが動いていない。(飲食・物販、県北地域)
コロナの収束が見えて、Go To トラベルの再開がないと、よくなるとは思えない。(その他)

5. 宿泊稼働指数の動向

① 月次別

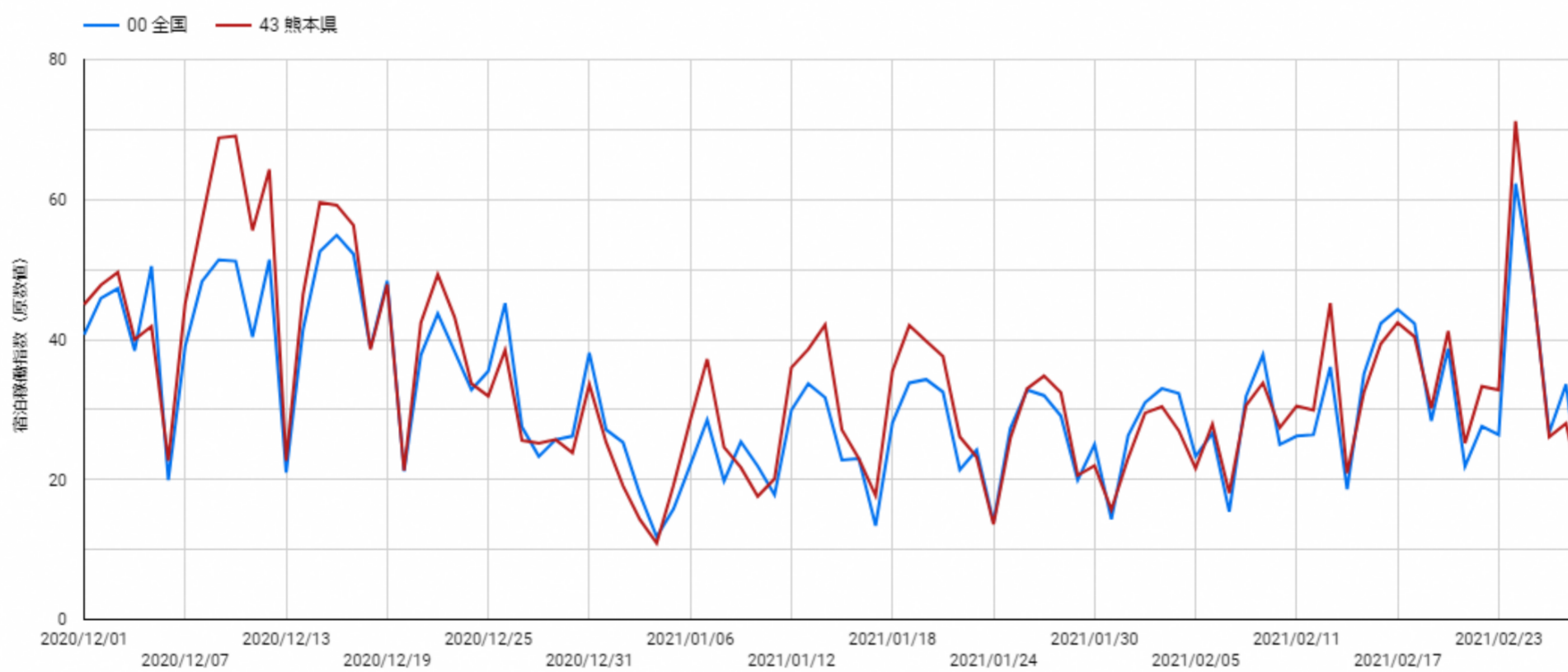


2021年2月における熊本県の宿泊稼働指数は32.3となり、前月の27.2より5.1pt高い水準となった。前年差は▲14.4ptとなっている。2020年4月～5月の緊急事態宣言発出時よりは高い水準となっているものの、緊急事態宣言やGo To トラベル停止の影響を受けている。

※宿泊稼働指数とは

宿泊稼働指数は日次の空室の水準を指数化したもので、九経調が独自に推計。原数値は0から100の間の数値をとり、稼働状況が良い場合は100に、稼働状況が悪い場合は0に近づく。
なお、本稿における宿泊稼働指数は、2020年4月に20日以上かつ2020年5月に20日以上空室が提供されている施設のみを対象とし、過去に遡って指数を算出した。
本稿では、①月次別では、日次(原数値)データを7日間周期のデータとみなして要因分解し、曜日要因を除いたものを単純平均したもの、②日時別では原数値を使用している。

② 日時別



宿泊稼働指数を日時別(原数値)で見ると、12月28日からGo To トラベルが全国一斉で停止となったが、それ以前から減少傾向にある。年末年始においても稼働状況は低水準となっている。2月24日は、翌日に国立大学の入学試験を控えていたため、71.2と高くなっていると思われる。